

平成30年度草の根・人間の安全保障無償資金協力 「アラル市における緑化及び環境教育推進計画」 完了式典の実施

2021年10月27日、アラル市内の国立自然保護区「バルサケルメス」において、平成30年度草の根・人間の安全保障無償資金協力「アラル市における緑化及び環境教育推進計画」（供与限度額：81,532米ドル）の完了式を行いました。式典には山田淳在カザフスタン大使、サトケーエフNGO「バイタク・ダラ」代表、ベクニヤズ・アラル海救援基金事務局長、アリムベトヴァ国立自然保護区「バルサケルメス」代表等が出席しました。

本プロジェクトでは、NGO「バイタク・ダラ」に対し、緑化用の種子・苗、灌漑装置、照明設備、太陽光・風力発電装置、及び現地住民向け環境教育のための遊歩道・案内板・ベンチ等が整備され、アラル市の緑化及び同地住民のための環境教育に寄与しました。

式典の冒頭、被供与団体のサトケーエフ代表が本計画の概要を説明したうえで、日本政府・国民に対する感謝の言葉が伝えられました。その後、ベクニヤズ・アラル海救援基金事務局長が現在アラル海地域で進められているプロジェクトの概要を説明し、アリムベトヴァ国立自然保護区代表が改めて日本政府・国民に対する感謝の念を表明しました。

山田大使は、本件プロジェクトの完了に対して祝意を述べるとともに、アラル海問題は世界的に注目されている環境問題であり、今後とも日本政府として何らかの形で協力していきたい旨述べました。



草の根完了式バナー



サクサウールを植林する山田大使



アラル海の現状を説明する
アラル海救援基金の代表



草の根資金で供与した太陽光・風力発電設備



案件サイト



団体職員らとの記念撮影